

若葉台地区の小中学校は、平成19年4月に小・中各1校ずつに再編統合されました。その後、学校としての役割を終えた3校の跡地活用を具体的に検討するため、平成20年9月に「若葉台地区小中学校跡地活用検討・調整委員会」が設置され、検討協議を重ねてきました。10月9日（土）、第6回検討・調整委員会が開催されましたので主な内容を報告します。今後、小委員会などで詳細の検討を進めていきます。



旧若葉台東小学校に移転する 特別支援学校の新しい校名について

8月25日に開催された第3回旧若葉台東小学校小委員会において、旧東小に移転が予定されている市立新治特別支援学校の新しい校名の候補（複数）が教育委員会から示されました。小委員会では学校名について検討を行い、候補を絞り込みました。10月9日に開催された第6回検討・調整委員会で、小委員会から提案された学校名の候補が正式に承認され、教育委員会に意見書を提出することになりました。

検討・調整委員会の意見として決まった新しい学校名は次のとおりです。

若葉台特別支援学校（正式名称） 横浜わかば学園（通称名）

<学校名決定までの経緯>

今回の学校名の決定にあたって、教育委員会では、①新治特別支援学校に在籍している子どもたち、今後入学してくる子どもたちへの思い②移転先の周辺の環境や地理的な特色、などを思い描くことのできる学校名にしたいという考えから、新治特別支援学校の保護者や教職員の意見も参考にしながら案を出し、そこから最終的に5つの候補名に絞り込みを行い小委員会に示しました。

（5つの候補とその主な理由）

- ① 横浜わかば学園…「わかば」の若々しいイメージと子どもたちの成長への思い、「若葉台」という地名の一部が盛り込まれていて親しみやすく感じる。
- ② 特別支援学校 わかば学園…特別支援学校であることが分かりやすい。
- ③ 横浜わかば学園 特別支援学校…①②と同様。
- ④ 若葉台特別支援学校…既存の市立特別支援学校の学校名との整合性がある。
- ⑤ 若葉台特別支援学校（正式の学校名）、横浜わかば学園（通称名）

…横浜市立学校条例上の名称は「横浜市立若葉台特別支援学校」とし、通称名としては「横浜わかば学園」を用いる。

小委員会では、5つの候補について検討を行いました。委員からは次のような意見が出されました。

- ・やはり「若葉台」を校名に入れてほしいという気持ちがある。
- ・特別支援学校は、全市から生徒が来るので、若葉台の「台」をはずして、親しみやすくひらがなで「わかば学園」としてもいいかもしれない。
- ・正式名と通称名両方入れられるのであれば、若葉台という名も入れられるし、通称名は「わかば学園」でよいと思う。
- ・特別支援学校を卒業したというより、わかば学園を卒業したということで、より胸をはれるのではないか。

こうした議論を受けて、小委員会では最終的に⑤の案を候補として検討・調整委員会にあげることになりました。

10月9日に開催された検討・調整委員会では、小委員会の結論を全会一致で承認し、検討・調整委員会の意見として学校名を決定しました。今後、山岸委員長名による意見書を教育委員会に提出し、教育委員会では意見書を尊重した上で学校名の検討を行い、横浜市立学校条例改正案を横浜市議会に提案して、市議会の議決により学校名が正式に決定することになります。

教育委員会から、新治特別支援学校の移転に向けた動きとして、21年度に基本設計が終わり、これから実施設計に入ること、工事契約を締結するために、市議会の議決が必要になる場合もあるため、スケジュールが若干遅れる可能性があること、いずれにしても24年度中に開校できるよう努力したいなどの説明がありました。

第6回検討・調整委員会の概要

日時：10月9日（土）10:00～11:15

場所：若葉台中学校 E ホール

議題：1 委員長あいさつ

2 第5回検討・調整委員会議事内容

3 旧東小学校小委員会経過について

4 新治特別支援学校移転に伴う新校名称について

5 旧3校の跡地活用の進捗状況について

6 その他



新治特別支援学校（同校ホームページから転載）



旧若葉台西小学校・西中学校の跡地活用 進ちょく状況について報告がありました

1 旧若葉台西小学校

旧若葉台西小学校については、学校法人国際学園が星槎中学高等学校を来年4月に移転開校することになっていますが、そのための手続きや、今後のスケジュールなどが、横浜市総務局財産調整課と学校法人国際学園から報告されました。（裏面につづく）

【横浜市総務局財産調整課】

昨年9月に、学校法人国際学園を優先交渉権者に選定し、都市計画変更などの手続きを進めてきた。本年7月5日に開催された横浜市都市計画審議会において、若葉台3校の都市計画変更の議案が可決された。7月23日に横浜市報で都市計画変更の決定が告示され法的な手続きが完了した。さらに、9月16日の横浜市議会本会議において旧西小の建物売却の議案が議決された。11月15日に国際学園と建物の売却契約及び土地の定期借地契約を締結したいと考えている。

【学校法人国際学園】

本契約後校舎の改修工事等が入る予定になっている。現在業者から見積もり等を取り、工事計画の準備を進めている。予定では12月末か1月には改修工事に入りたい。原則既存の校舎施設を有効利用していきたいと考えており、工事はできるだけ最小限で進めていきたい。日程等が決定したら地元へもご連絡したい。グラウンドや体育館の地元開放については、工事の都合により中止する場合もあるが、それ以外は年度内開放していきたい。

2 旧若葉台西中学校

旧若葉台西中学校については、ニュース第2号でもお伝えしたように、文化・芸術・スポーツ分野の市民活動拠点として整備することが決まっていますが、その進ちょく状況について、旭区役所区政推進課から報告がありました。

【旭区役所区政推進課】

整備に向け今年度実施設計を予定しているが、現在その業務を担当する建築局施設整備課で、設計業者に委託する内容について具体的に検討を進めている。たとえば、福祉のまちづくり条例で設置が義務付けられている、エレベーターや車イス対応トイレの位置、エレベーターの設置などに伴う電気容量設備の変更、給排水施設の見直しなど限られた予算の中で工事項目の精査をしている。その中で新たな課題も見つかっており、若干事業に遅れが出ているが、11月中下旬になればある程度精査も進み地域の皆さんにもご報告ができるのではないかと考えている。

以上の報告に対し、出席委員から次のような意見、質問が出されました。()内は回答。

- ・旧東小の体育館は改修しないということだが、耐震については検討したのか。(体育館の耐震性については問題ないと建築局から聞いている)
- ・旧西小から旧西中に防災拠点を移すことになっているが、防災備蓄倉庫の場所はどうかははっきりさせておく必要がある。(場所については改めて委員会で提示するので皆さんで話し合っ決めてほしい)
- ・新聞に学校の耐震性に問題があると出たが、横浜市は専門家がきちんと検査しているのか。(耐震性について専門的に調査している機関があり、そこに調査を依頼している。旧東小についても補強は必要ないという結論が出ている)
- ・旧東小の工事期間中、体育館は地域に開放してもらえるのか。(具体的な工事のやり方についてはこれから検討することになるので、詳細が決まれば地域にお知らせしたい)
- ・施設の利用については住民の関心も高いので、その辺も十分留意して情報を地元流してほしい。
- ・旧東小体育館の水銀灯が壊れているが、修理のためには足場を組む必要があり非常に経費がかかるので、ぜひ校舎の改修に合わせて全部更新してほしい。(持ち帰って検討したい)
- ・旧西中の障がい者用トイレの場所についても再検討をお願いしたい。(現在検討中であり、改めて案を提示して意見を聞きたい)

最後に、坪井新治特別支援学校校長から、11月に開催されるバザー(P T A主催)と授業参観の案内があり、検討・調整委員会を終了しました。



平成22年度若葉台地区小中学校跡地活用検討・調整委員会 委員

(敬称略)

委員長	山岸 弘樹 (連合自治会会長)		
副委員長	南 宏市朗 (体育指導委員協議会会長)		
副委員長	白岩 正明 (地区社会福祉協議会会長)		
委員	服部 光雄 (連合自治会事務局長)	小原 淳治 (連合自治会広報理事)	
	皆川 猛文 (第一自治会会長)	岩城 徹夫 (東自治会会長)	
	泉妻 輝夫 (二丁目南自治会会長)	武笠 信義 (北自治会会長)	
	田村 八郎 (中央自治会会長)	太田 正廣 (とちのき自治会会長)	
	大野 清志 (ゆりのき自治会会長)	松浦 一明 (西自治会会長)	
	佐々木恵介 (あかね自治会会長)	伊藤 徹 (もみじ自治会会長)	
	内山 善彦 (青少年指導員協議会会長)	峰松 雅子 (民生委員・児童委員協議会会長)	
	神尊 克己 (スポーツ・文化クラブマネージャー)	長沼 伸行 (スポーツ・文化クラブ事務局長)	
	堀 進 (若葉台まつりの会会長)	堀部 裕 (旭区老人会連合会若葉台第一支部支部長)	
	高岡 穎郎 (旭区老人会連合会若葉台第二支部支部長)	高島 裕子 (若葉台小学校P T A会長)	
	祖父江祐子 (若葉台中学校P T A会長)	井上 政夫 (オブザーバー、若葉台小学校長)	
	齋藤 悦子 (オブザーバー、若葉台中学校長)	石川 敏夫 (オブザーバー、東小コミュニティハウス館長)	
	小倉 剛 (オブザーバー、若葉台管理センター事務局長)	仲戸川正仁 (オブザーバー、神奈川県住宅供給公社技術管理課長代理)	
	栗山 裕章 (オブザーバー、星槎高等学校教頭)		

* 行政関係委員は除く。

■本委員会へのご意見は、ファクスまたはEメールで、下記事務局までお寄せください。

【若葉台地区小中学校跡地活用検討・調整委員会事務局】 旭区役所 区政推進課 地域力推進担当

ファクス：951-3401

Eメール：as-kikaku@city.yokohama.jp

電話：954-6028